

2020年3月6日

北海道教育委員会教育長 佐藤 嘉大 様

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会
北海道自閉症協会
北海道小鳩会（ダウン症児・者親の会）
NPO 法人 北海道学習障害児・者親の会 クローバー
北海道自閉症協会札幌分会札幌ポプラ会
北海道障害児教育フォーラム実行委員会

新型コロナウイルス感染拡大に対応した臨時休校措置等に関わる緊急要請

日々、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご奮闘いただいていることに敬意を表します。

鈴木北海道知事の要請により、1週間の休校措置が始まった直後、安倍首相の全国一律の3月2日から春休みまでの休校要請により、学校現場は大混乱をきたしています。特に、特別支援学校や特別支援学級に在籍する障がいのある子どもとその家族に対する考慮がなされていないため、子どもと家族に大きな困難を強いる事態になっています。仕事を急に休まざるを得なくなった方、休むことができず、子どもをひとり家庭に残したり、きょうだいでだけ過ごさせざるを得ない方、放課後等児童デイ事業所も過密な状態で十分な対応ができなかったり、感染予防対策がとれないところも出ています。

また、卒業式の時期でもあることから、その取り扱いも定まらず、子どもたちや家族を不安に陥れています。すでに、特別支援学校の小学部と高等部を併設する中学部の卒業式を実施しないとの通知が道教委から出され、卒業式の中止を決定した学校もあります。卒業式は障がいのある子どもたちにとって、6年間あるいは3年間の成長を確認し合い、4月からの新しい生活を始めていくための大切な最後の授業です。特別支援学校には抵抗力の弱い子どもや、基礎疾患のある子どもも在籍しており、新型コロナウイルスに感染させないための十分な対策と配慮が必要なことは言うまでもありませんが、地域や学校によってその実情は様々です。一律に小中学部の卒業式を行わないことには妥当性はありません。

このような状況において、障がいのある子どもたちの健康と安全、学びを保障するために、以下のことを緊急に要請いたします。

要請項目

- 1 長期にわたる一律の休校の継続はやめ、各学校の個別の実情や地域の状況、障がいに対する合理的配慮に基づく判断、それをふまえた決定を尊重してください。
- 2 休校を継続する場合は、感染予防の対策を取ったうえで、学校を居場所として希望するすべての子どもを受け入れてください。
- 3 卒業式等の実施・不実施、また実施の内容・形態の変更については、各学校の個別の実情や地域の状況、障がいに対する合理的配慮に基づく判断、それをふまえた決定を尊重してください。
- 4 マスクや消毒液などの衛生用品の確保と学校への配布を行うよう努力してください。なお、その使用にあたっては、障がい特性や疾病に配慮してください。

以上